

平成 30 年度 第 2 回羽島中学校学校運営協議会 議事録

1	日時	平成 30 年 10 月 11 日 (木) 午後 2 時～午後 3 時 30 分
2	場所	羽島中学校 図書室 (北舎 2 階)
3	出席者	<p>13 名 (全委員 24 名)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">足近校区</span> 長島秀賢 (主任児童委員) 田中彰俊 (地域コーディネーター)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小熊校区</span> 大橋佳政 (自治委員会長) 柳川禎章 (地域コーディネーター)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">正木校区</span> 味噌巖 (自治委員会長) 豊島信征 (コミセン協議会長) 野口佳宏 (青少年育成推進員)</p> <p>不破祥公 (主任児童委員) 豊島裕香 (主任児童委員) 今井田康雄 (地域コーディネーター)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">市教育委員会</span> 島戸秀人 (指導主事) 浅野喜代子 (市 CS ディレクター)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">羽島中学校</span> 長尾祐二 (PTA 会長) 森山健 (学校長) 山口真理子 (教頭)</p> <p>水谷真由美 (総括生徒指導主事)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小学校長</span> 阿部達也 (足近) 鵜飼紀子 (小熊) 若岡昌樹 (正木)</p> <p>※ 4 校、組織作りを同歩調で進めていくため、今回は、羽島中学校区の小学校長も参加</p>
4	議事	<p>①(仮称)羽島MOA学園構想について (学校長)</p> <p>&lt;目的&gt; 地域の財産である地域教育力と小中学校教育との効果的な協働・連携を通して、9 カ年の義務教育を受ける子供たちの健全育成を目指し、地域とともにある学校づくりを目指す。</p> <p>&lt;基本&gt; ・ 3 小学校区を中心とし、中学校区を 1 つのまとまりとする学園構想。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学園で大切にすることを各地域や各学校で共有し、活動にも反映させる。</li> <li>・ 各学校経営の特色 (独自性) は、尊重する。</li> </ul> <p>&lt;組織&gt; ・ (仮称)「学園企画委員会」(4 校合同)</p> <p>・ (仮称)「学園運営協議会」(4 校合同)</p> <p>・ (仮称)「学校支援推進委員会」(各学校)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">         コミュニティー・センター協議会  <b>【地域学校協働本部】</b> </div> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">⇔</p> <p>②意見交流</p> <p>&lt;目的&gt; ・ 地域の子どもは、地域で守る。「地域の子どもは宝」である。地域の子どもの姿は、分かる。しかし、学校に関わることは分からない。専門職が考えた案には、何も意見が言えない部分がある。もちろん、何か活動をするとなれば、地域として何がサポートできるかを考え、協力はしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各町で行っていることは変わらない。3 町をまとめようというわけではない。</li> </ul> <p>&lt;組織&gt; ・ 目指す子どもの姿を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今やっていることをオープンにして、活動を手直し・追加していけばよいのでは。</li> <li>・ 小中学校が連携して、地域の子どもを育てていくことは必要であるが、組織を作り上げようとするのは難しいのでは。各町内でのルールはバラバラだから。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・理想を言われても、想像しがたい。地域の誰もが分かるように、かみ砕いて話をしてもらいたい。「それはいいね!」と思ってもらえたら、地域も協力する人が増えるのでは。</li> <li>・新しいことを始めようとするには、何度も話し合う必要があるのでは。</li> <li>・新しいものを作り出すという考えではなく、各学校に今ある組織をうまく統合していこうとする考え方はよい。</li> <li>・専門部会について、具体的に何を行うのかなど詳しい説明があるとよい。</li> <li>・すべてを新しいものにして始めるのではなく、4校で共通して、これだけは取り組もうというものを決めて、取り組んでいけばよいのでは。</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;・PTA（保護者）、学校職員は、コミスクに対してどれだけ理解があるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席者に対して、説明する場はあるのか。</li> </ul> <p>→各小学校の学校運営協議会の場でも同じ説明をする機会を設ける。</p>
5	確認事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の未来を担うよりよい子どもの育成を目指して、校区で統一して取り組むものを決め、それぞれの立場で働きかけていく。</li> </ul>
6	連絡等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティー・スクールだよりについて</li> <li>・今後の活動計画</li> <li>・学び舎（冬版）の講師募集</li> <li>・合唱祭の案内</li> <li>・ヘルメットの着用と保険加入の義務化（広報はしまより）</li> <li>・タウンミーティング（広報はしまより）</li> </ul>
7	次回の開催予定	10月下旬から11月下旬に行われる各小学校の学校運営協議会での意見を受け、今後の見通し等をふまえた上で、会の日時を検討し、後日連絡。